

○パネルディスカッション出演者プロフィール（敬称略）

パネリスト

高橋 拓児（たかはし たくじ） 京料理「木乃婦」若主人



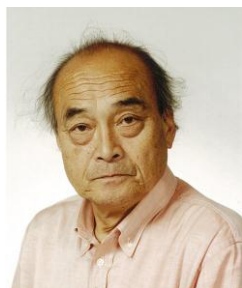
昭和 43 年京都生まれ。NPO 法人日本料理アカデミー海外事業副委員長。大学卒業後、「吉兆」で修業、日本料理の真髄を学ぶ。伝統的な日本料理を基本としながらも、フランス料理や分子化学の理論など最新の技法を積極的に取り入れた、新しいスタイルの日本料理は、業界を代表する若手シェフとして、マスコミも注目。また、シニアソムリエや利酒師の資格をもち、酒は勿論ワインにも造詣が深い。また、京都大学大学院農学研究科で日本料理を科学的に研究している。

鳥羽 美花（とば みか） 染色画家



愛知県生まれ。昭和 62 年京都市立芸術大学大学院修了。京都精華大学芸術学部教授。日本独自の染色技法である型染めを絵画の世界に持ち込み、新しいコンテンポラリーアートを創りだした。ベトナム各地のうつろいゆく風景を描いた大作が高い評価を受け、ベトナム政府より「文化功労賞」として勲章授与。国内では「京都市芸術新人賞」「外務大臣表彰」等を受賞。平成 25 年 11 月に日越外交 40 周年事業として展覧会をホーチミンで開催。栄西禅師 800 年大遠諱を祈念し、建仁寺書院の襖絵を作成、来年秋に建仁寺での展覧会を予定。

吉田 孝次郎（よしだ こうじろう）（公財）祇園祭山鉾連合会理事長 京都生活工芸館無名舎主



昭和 12 年京都生まれ。昭和 23 年祇園祭北観音山の囃子方となる。昭和 36 年武蔵野美術学校を卒業し、同大学造形学部助手。昭和 48 年から京都芸術短期大学非常勤講師を 10 年務める。平成元年に京都生活工芸館無名舎を開設。平成 17 年から武蔵野美術大学参与を務め現在に至る。同年文化庁長官表彰受賞。京都生活工芸館無名舎主、NPO 法人美しい京都理事長。平成 25 年 5 月には、「朝鮮王朝の美『毛綴織』展」を開催。（京都芸術センター）

コーディネーター

山本 壯太（やまもと そうた） 古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー



昭和 19 年生まれ。京都大学文学部を卒業後、昭和 42 年 NHK に入局。ドラマ番組を中心にディレクター・プロデューサーを務める（大河ドラマ「獅子の時代」、「山河燃ゆ」等）。京都放送局長、NHK 文化センター常務取締役大阪総支社長を歴任し、平成 20 年退社。平成 19 年に源氏物語千年紀委員会委員、平成 20 年に同ゼネラルプロデューサーに就任。平成 21 年に古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサーに就任、「古典の日」法制化にも尽力。